

## 令和5年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済の回復に伴い、社会活動は正常化しつつある。

種子屋久法人会においても、令和5年度は県連主催の「青年の集い」を主管し、1年間にも及ぶ準備を通じて、会員同士の結束力は格段と高まった。

### 公益目的事業の実施

活動の柱である税の啓発活動は、青年部会が行う「租税教室」や女性部会が行う「税に関する絵はがきコンクール」を適正に実施するなど、年々活動の充実を図っている。

支部は、イベントの際に実施する「税金クイズ」や海岸の「清掃活動」を行うなど、地域密着した貢献活動の拡充を図ることで、各市町村の活性化の一助としている。

### 組織運営と財政基盤

前年より取組みの強化を図っていた「会員増強」運動は、役員が中心となり44社の純増となった。そのことが要因となり、県連は全国1位の証として最優秀賞に輝き、種子屋久法人会においても、これまでにない会員の増強を図った。

令和5年度は、県連主催の「青年の集い」を種子屋久法人会で主管し、盛大に終了することができた。青年部会は多くの打合せ等を行うなど、大会を通じて、会員間の結束はさらに強固なものとなった。

令和5年12月、長年にわたり種子屋久法人会の運営に尽力された事務局長が他界し、当然のごとく、その後の会運営は支障をきたしていたが、新しい体制も決まり令和6年度の運営を開始することとしている。